

事例 4

入浴用クッションの製作

1 相談内容

相談者は頸髄損傷の男性です。これまで入浴時にはシャワーキャリーにクッション(ウレタンシート)を載せて、その上に座って身体をヘルパーに洗ってもらっていましたが、そのクッションがへたってきてしまい、完全に乾くことがなかったためにカビも発生して衛生上問題があるので、防水のクッションを作ってくれないかと依頼がありました。

2 利用者プロフィール

40 代男性、頸髄損傷による身体障害者手帳 1 級であり、一人暮らしをしています。

3 対応

ウレタンの穴は上側と下側で大きさが違っています。これは本人が入浴前に排泄を行うのにヘルパーから摘便をしてもらっているので、座面下からの視認性を高めるために下側の穴が大きくなっています。今回、市販品もなかったことから防水カバー付きのクッションを製作しましたが、穴の開いたクッションにカバーをかけること及び、その脱着を容易にすることに大変苦労しました。



クッション外観(カバーをズラした様子)



シャワーキャリーに載せた様子

4 結果

本人からは、「防水カバー付きなので、クッションの乾燥も楽になりました。」との感想をいただきました。

5 予算

6,000 円程度